

時間外労働

工事は21年度720時間以下

大成ロテック 23年度に4週8休

大成ロテックは、働き方改革の取り組みを加速させる。長時間労働是正と週休2日推進に向けて「働き方改革実行計画」を策定し、2018年



西田社長

4月から全社に施行する。年間時間外労働時間は工事部門で21年度、製品部門で19年度の720時間以下を達成目標とした。23年度の4週8休の実現も目指す。日刊建設通信新聞社などのインタビューに応じた西田義則社長は「ここでやらなければ担い手がいなくなり産業の存亡に関わる。」

最後のチャンスだと思って真剣に取り組む」と決意を示した。 関連3面

長時間労働是正に向けては、工事部門で自主規制として年間時間外労働時間を初年度に960時間以下、2年目に840時間以下と段階的に削減し、21年度に720時間以下の達成を目指す。

合材部門では改正労働基準法が施行された場合、即時に年間時間外労働時間数720時間の上限規制が適用されるため、労働時間をより厳格に管理する。

週休2日の推進では、まず18年度に全現場で第2土曜日を閉所する。その後、段階的に土曜閉所を拡大し、23年度の4週8休の実現を図る。閉所は原則として土日とするが、困難な場合は代休や振り替えにより休日の確保に努め

会社への教育の充実などに取り組む。また、モデル現場での監督・監視システムの展開、ICT導入やプレキャスト(PCa)の活用、生産効率の高い施工技術の水平展開により生産性のさらなる向上を図る。